



やさとっ子

四日市市立八郷小学校
学校だより
第 13 号
令和3年 5 月 27 日

●熱中症に注意!!

風薫る気持ち良い季節ではありますが、熱中症も心配される時期になりました。以前、校医さんから「熱中症は防げる病気です。」と言われました。大切な子どもたちの命を守るために学校でも対策を行っていきます。



四日市市教育委員会からの「学校ではこんな対策を…」の文書を裏面に掲載しました。また教育委員会からの「熱中症の予防について」も別紙にて配付しました。ご覧ください。

さらに、今日、日本学校保健会を通じて、カバヤ食品(株)様からいただいた「塩分チャージタブレット」を渡しました。ご家庭にて、利用ください。

熱中症対策につきましては、保護者のみなさまのご協力も必要です。よろしく申し上げます。

- 規則正しい生活を行い、体調を整えてください。

「早寝(しっかりとした睡眠を)」「朝ごはん」「登校前に水分補給を」

- 水筒(ペットボトル可)を必ず持たせてください。帽子の用意もお願いします。
 - 学校での水分補給は水やお茶等を基本としますが、必要な場合はイオン飲料や経口補水液をご用意いただいても構いません。
 - 学校の水道水は、環境衛生検査を適切に実施していますので飲用することができます。
 - 水筒の記名を忘れずをお願いします。この時期、同じような水筒が並びます。友だちのお茶を間違えて飲んででは大変なことになります。必ず見やすい箇所に記名ください。

【ご注意ください】

- イオン飲料を水筒に入れると有害な物質が発生することがあるようです。水筒等の使用説明書に従ってください。
- 登校の際にコンビニや自販機で子どもが購入することのないようにしてください。
- スポーツドリンクは糖分が多く含まれているものもあるため、むし歯や肥満などの原因となる場合もあるそうです。ご家庭で飲み方の指導をお願いします。



新型コロナウイルス感染同様、熱中症についても気をつけていかなければなりません。不調を感じる場合は、無理することなく、すぐに教職員に伝えるよう、ご家庭でも話してください。

小中学校ではこのような対策を行います

学校において教職員は、四日市市教育委員会が策定した「学校における熱中症予防対策マニュアル」をもとに、熱中症予防対策を実施し、学校生活の中で、熱中症事故の予防に努めています。

気温や湿度など環境条件に配慮した活動を実施します。

- 各学校に熱中症計(WBGT計)を備え、学校内のWBGT値(*)の測定を随時行います。また、測定した値を教職員や児童生徒がいつでも確認できるよう、校内にWBGT値を表示する掲示版を設置します。
 - マニュアルに基づいて、環境条件により、授業や行事の内容を変更したり、時間を短縮したりする場合があります。
- *WBGT値…いわゆる暑さ指数。気温、湿度、日射、輻射、風の要素を取り入れた指標。



空調設備(エアコン)を適切に稼働します。

- 子どもたちの学習環境を整えるため、冷房運転をさせます。
- エアコン稼働中も、常時窓を開ける、休み時間には窓を全開にして換気するなど感染症対策を行います。



こまめに水分が補給できるようにします。

- 暑い時期には、一人一人が必要に応じて自由に水分が補給できるようにするとともに、教職員が声をかけ、一斉に水分補給する時間を設けるようにします。
- いつでも水分補給ができるように、暑い時期は、毎日水筒を持参していただくようお願いいたします。

一例として・・・

個人差はありますが、炎天下で部活動の大会に参加する場合には、2~4?の水分が必要になることもあります。

空調設備のない部屋では換気を十分に行い、

屋外では温度を下げるよう工夫します。

- 体育館等、空調設備のないところでは、窓を開放し、扇風機を活用するなど、換気を十分に行います。
- 運動場や学校内のアスファルト等に散水を行い、屋外の温度を下げるようにします。

健康観察をこまめに行い、児童生徒の健康に留意します。

- 毎朝の健康観察を行うとともに、こまめに子どもたちの健康状態を把握します。
- 体調が悪くなった場合は、無理をせず、早めに教職員に申し出るように指導しますので、ご家庭でもご指導ください。

気温・湿度や暑さ指数が高い場合は、熱中症への対応を優先します。

- 十分な身体的距離が確保できる場合は、マスクを外すよう促します。
- 児童生徒等本人が暑さで息苦しいと感じた時などには、マスクを外したり、一時的に片耳だけかけて呼吸したりするなど、自身の判断でも適切に対応できるように指導します。